



ベクトルをそろえる ②

授業改善

◆ **現行の学習指導要領の趣旨**は、子供たち一人一人にこれからの時代に必要な資質・能力を育み、生涯にわたって積極的に学び続けることができるようにすることです。この趣旨を実現するには、各校が計画的に授業研究を積み重ねることが必要です。



◆ 本市には、教育委員会と校長会が協働で策定した「**はむらの授業指針**」があります。この指針を、**個々の教師はもとより組織的に活用**することが肝要です。

管理職のリーダーシップの下、次に示す活用を引き続きお願いします。

① **人事考課の授業観察・面接等での活用**

- 授業者は、観てもらいたい項目にチェック（レ点）を入れ、管理職に事前に提出する。
- 管理職は、授業者がチェックした項目を中心に観察を行い、面接で主な話題とする。

② **羽村市教育研究会における活用**

- 全ての部会において、授業観察とその後の研究協議で活用する。

「はむらの授業指針」 関連号

3号・4号・12号・13号・14号・15号・16号・17号・18号・19号・20号・21号・22号
23号・51号・52号・53号・54号・55号・56号・57号・58号・59号・60号

困難の克服

元プロ野球選手／松井秀喜

僕は困難に直面したとき「今、自分にできることは何か」と自問します。

出典：「賢人たちに学ぶ 自分を超越る言葉」 本田季伸著（かんき出版）

※ たとえささいに思えることでも、できることから始めることが解決の第一歩です。